

岩手県感染症週報

平成16年第35週（8月23日～8月29日）

岩手県結核 感染症情報センター

第35週の概要

1類感染症

2類感染症

4類感染症

患者発生の報告はありませんでした。

5類感染症（全数把握対象疾患）

・一関地区から梅毒の報告が1例ありました。患者は60代の女性です。

3類感染症

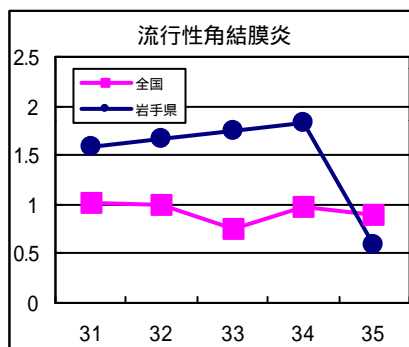
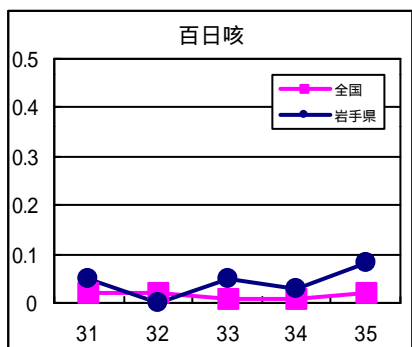
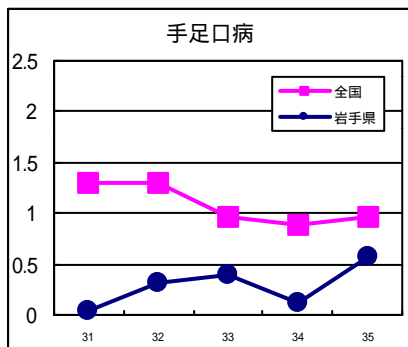
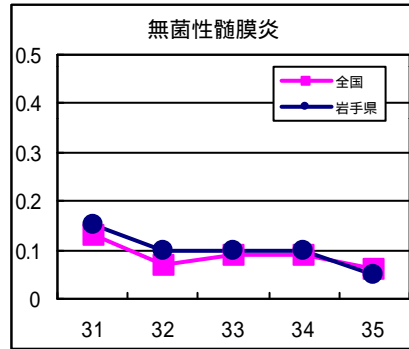
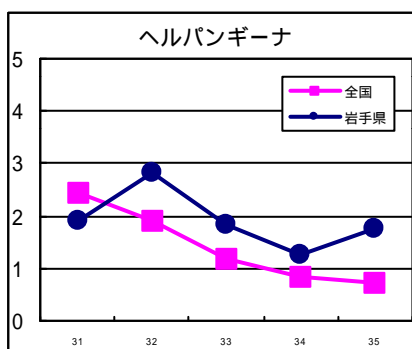
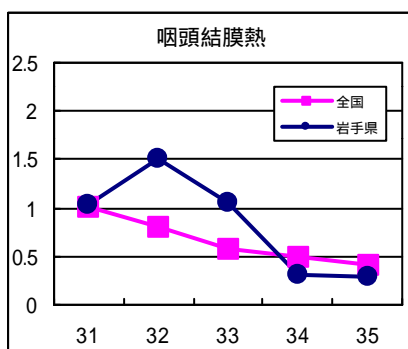
・O157などの腸管出血性大腸菌感染症は、依然として患者発生の報告が相次いでいます。この週には、盛岡、水沢地区からそれぞれの3例ずつの患者発生の報告がありました。血清型はO157が1例、O26が5例で、患者の年齢層は1～4歳が4例、50代が2例でした。水沢地区の2例は前週報告のあった患者からの家族内感染とみられますが、他の4例については、感染源、感染経路とも現在のところ不明です。

5類感染症（定点把握対象疾患）

- ・無菌性髄膜炎は、ここ数週水沢地区から患者発生の報告が続いています。県環境保健研究センターの病原体検査では、患者からエコーウイルス6型が分離されています。このウイルスはこどもの夏かぜの原因ともなりますが、しばしば髄膜炎を引き起こすので注意が必要です。病原体は上気道や腸管で増殖し、せきなどによる飛沫や糞便とともに排出されるので、感染の予防には入念なうがいや手洗いが重要です。
- ・百日せきは、宮古地区から3例の患者発生の報告がありました。
- ・手足口病は、久慈、二戸地区で患者数が増加しています。

最近の注目疾患（定点あたり患者数の過去5週の動き）

（疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意）



定点把握対象疾患（過去5週の動き）

（定点あたり患者数）

疾病名	地域	週					流行傾向	
		31	32	33	34	35		
インフルエンザ	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0	0	0	0	0		
咽頭結膜熱	岩手県	1.03	1.5	1.05	0.32	0.29	↘	
	全国	1.01	0.8	0.57	0.49	0.42		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	0.5	0.42	0.21	0.34	0.29	→	
	全国	0.65	0.56	0.43	0.43	0.49		
感染性胃腸炎	岩手県	1.13	1	1.24	1.13	1.21	→	
	全国	2.51	2.49	1.91	2.26	2.37		
水痘	岩手県	1.53	0.71	0.68	0.47	0.18	↘	
	全国	0.79	0.57	0.49	0.48	0.47		
手足口病	岩手県	0.03	0.32	0.39	0.11	0.58	↗	
	全国	1.3	1.29	0.97	0.89	0.97		
伝染性紅斑	岩手県	0.18	0.26	0.26	0.24	0.29	→	
	全国	0.26	0.24	0.15	0.15	0.19		
突発性発疹	岩手県	0.61	0.82	0.39	0.76	0.74	→	
	全国	0.84	0.86	0.66	0.75	0.93		
百日咳	岩手県	0.05	0	0.05	0.03	0.08	→	
	全国	0.02	0.02	0.01	0.01	0.02		
風疹	岩手県	0	0	0.03	0	0	→	
	全国	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01		
ヘルパンギーナ	岩手県	1.92	2.82	1.84	1.26	1.76	↗	
	全国	2.46	1.89	1.19	0.85	0.74		
麻疹（成人麻疹を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.01	0.01	0.01	0		
流行性耳下腺炎	岩手県	0.37	0.53	0.39	0.18	0.45	→	
	全国	1.05	1.03	0.77	0.9	0.85		
急性出血性結膜炎	岩手県	0	0	0.08	0	0	→	
	全国	0.03	0.02	0.01	0.03	0.02		
流行性角結膜炎	岩手県	1.58	1.67	1.75	1.83	0.58	↘	
	全国	1.01	1	0.75	0.98	0.9		
RSウイルス感染症（患者報告数）	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	32	43	19		0		
細菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.02	0.01	0.01	0.02	0.02		
無菌性髄膜炎	岩手県	0.15	0.1	0.1	0.1	0.05	→	
	全国	0.13	0.07	0.09	0.09	0.06		
マイコプラズマ肺炎	岩手県	0.05	0.05	0.1	0.2	0.15	→	
	全国	0.2	0.18	0.22	0.22	0.22		
クラミジア肺炎（オウム病を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.01	0.02	0.01	0.01		
成人麻疹	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0	0.01	0	0	0		

【流行傾向の見方】

- 無印 : ほとんど患者が発生していません
- : 患者が発生しています
- ↗ : 警報値を超えた地区が1～2地区あります
- ↘ : 多くの地区で警報値を超えています

全数把握対象疾患（過去5週の動き）									(患者発生数)	
分類	疾病名	岩手県					全国			
		(週) 31	32	33	34	35	累計	35	累計	
一類 感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0	
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
二類 感染症	コレラ	0	0	0	0	0	1	8	51	
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	3	15	347	
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	3	43	
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	1	53	
	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0	
三類	腸管出血性大腸菌感染症	1	5	7	2	6	39	216	2545	
四類 感染症	アメーバ赤痢	0	0	0	0	0	0	11	387	
	エキノкокクス症	0	0	0	0	0	0	0	20	
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
	オウム病	0	0	0	0	0	0	0	31	
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
	急性ウイルス性肝炎	0	0	0	0	0	0	3	185	
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	5	
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0	
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	2	8	
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	0	1	1	109	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	42	
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	0	0	0	7	751	
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	2	
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	2	2	55	
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
	髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	17	
	先天性風疹症候群	0	0	0	0	0	0	0	5	
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ツツガムシ病	0	0	0	0	0	0	0	97	
	デング熱	0	0	0	0	0	0	2	25	
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	5	31	
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	1	
	乳児ボツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	0	
	梅毒	0	0	0	0	1	1	6	325	
	破傷風	0	0	0	0	0	1	0	60	
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	2	37	
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	0	
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0	
マラリア	0	0	0	0	0	0	2	41		
ライム病	0	0	0	0	0	0	0	2		
レジオネラ症	0	0	0	0	0	1	1	90		
ウエストナイル熱	0	0	0	0	0	0	0	0		

昨年11月5日に感染症法が改正されたことに伴い、調査対象疾患が一部改正されましたが、本週報では当面の間、改正前の分類による情報をお届けしております。
できるだけ早い時期に、新しい分類による情報をお届けできるよう準備していますので、ご了承ください。

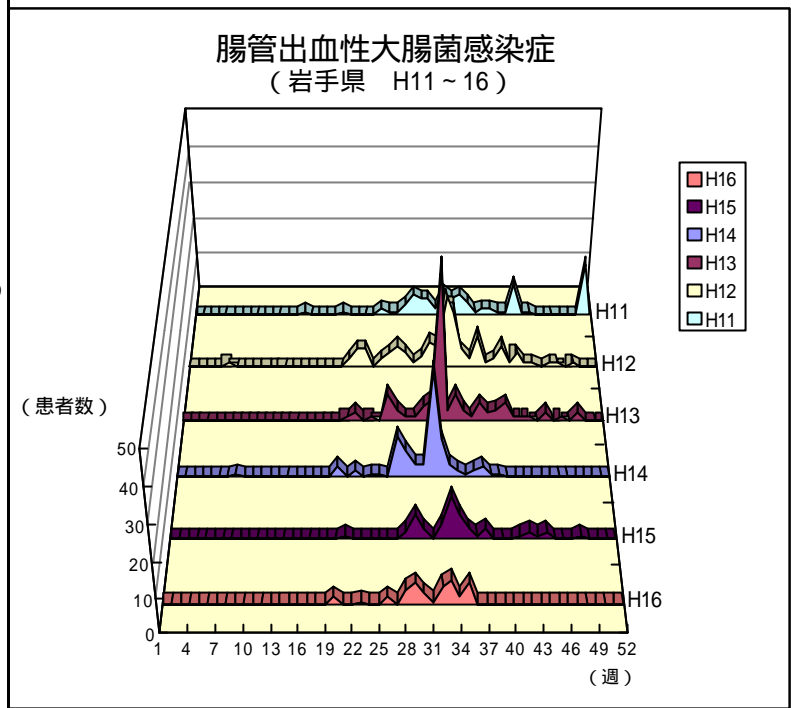
今注目の感染症

腸管出血性大腸菌感染症

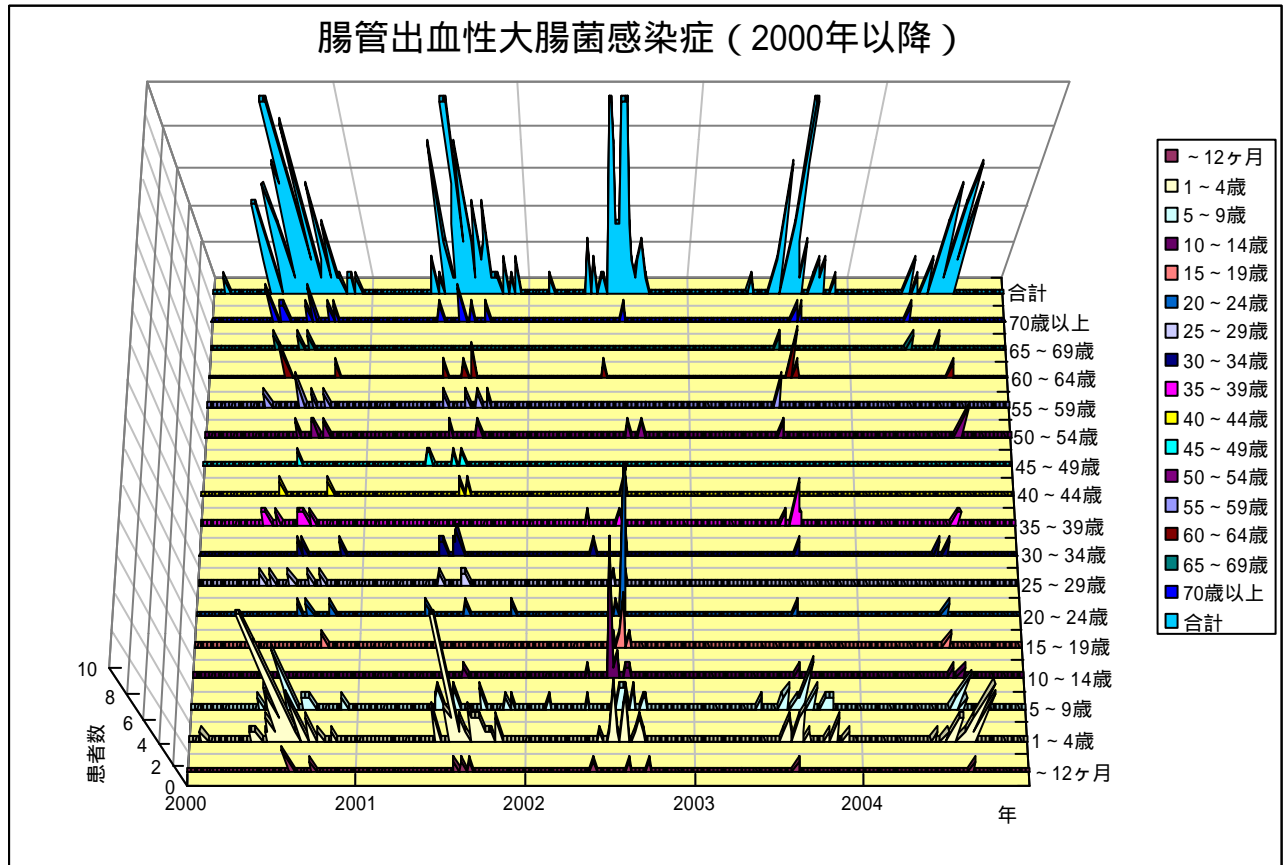
腸管出血性大腸菌感染症の発生がここ数週続いています。例年、患者発生のピークは夏頃にあり、これから患者数はさらに増えるものと思われるので注意が必要です。

本疾患の病原体であるO157などの大腸菌は感染力が強く、初発患者からの二次感染も少なくありません。また、免疫力の比較的弱い乳幼児や高齢者の患者が多くなっています。

感染の予防には、一般的な細菌性食中毒予防の三原則、細菌をつけない、細菌を増やさない、細菌をやっつけることが有効です。また、血便を伴った下痢など、特有な症状が認められたらできるだけ早く医療機関を受診することが大切です。



県内の今年のこれまでの患者報告数は39例で、そのうち25例が10歳未満の子どもです。全国では第32週までに1,873例の報告があり、うち740例が10歳未満です。本県では子どもの患者の割合が多くなっています。



病原体検出情報

- ・上気道炎の患者の咽頭拭い液からアデノウイルス3型を3例、コクサッキーA群ウイルス4型を3例分離検出しました。
- ・無菌性髄膜炎の患者の糞便からエコーウイルス6型を2例分離検出しました。
- ・流行性角結膜炎の患者の結膜拭い液からアデノウイルス19型を3例分離検出しました。

集団感染情報

この週には集団感染情報はありません。

医療機関からの情報

盛岡市内の医療機関から（総合病院）

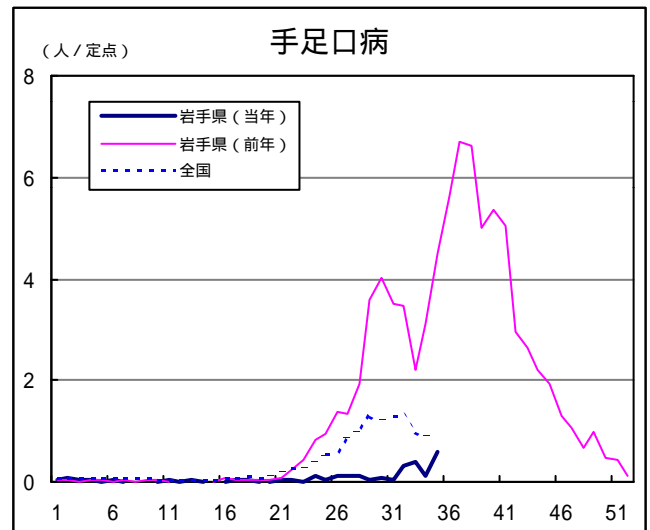
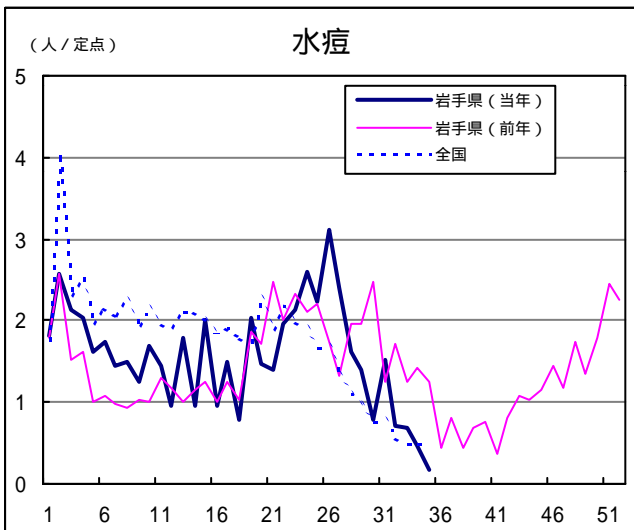
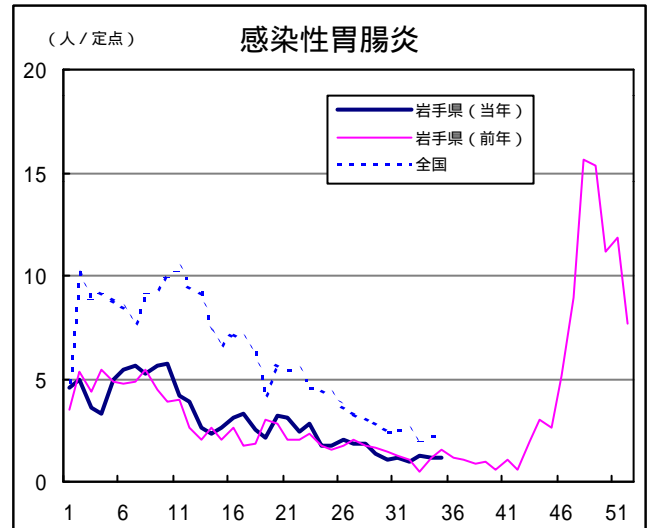
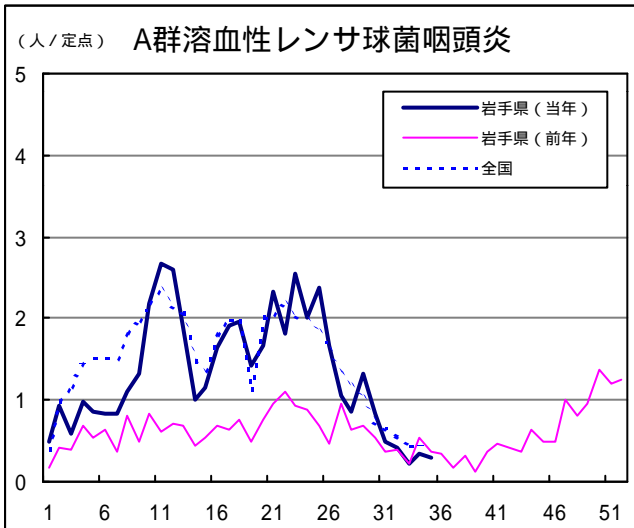
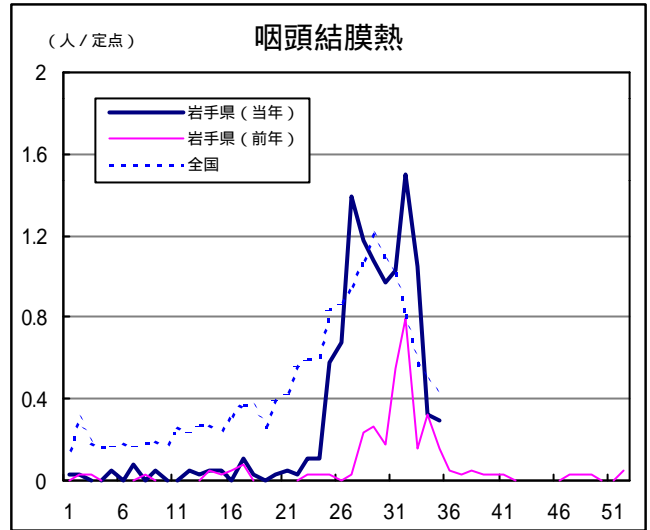
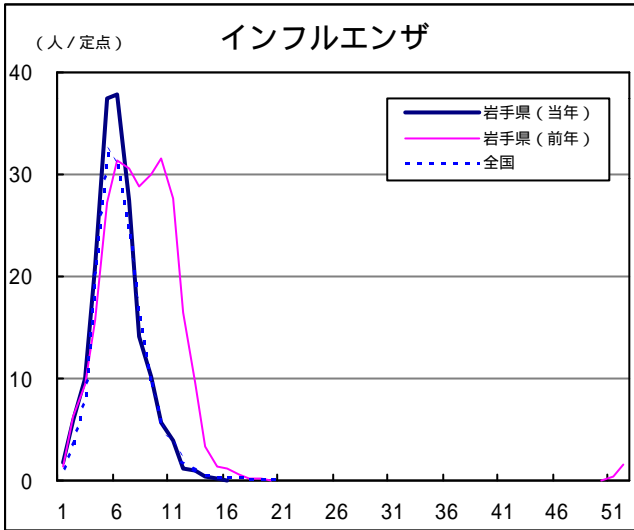
- ・盛岡市の太田地区近辺で、8月中にマイコプラズマ肺炎の患者が10名程度発生している。患者の年齢層は小学生～中学生の範囲である。

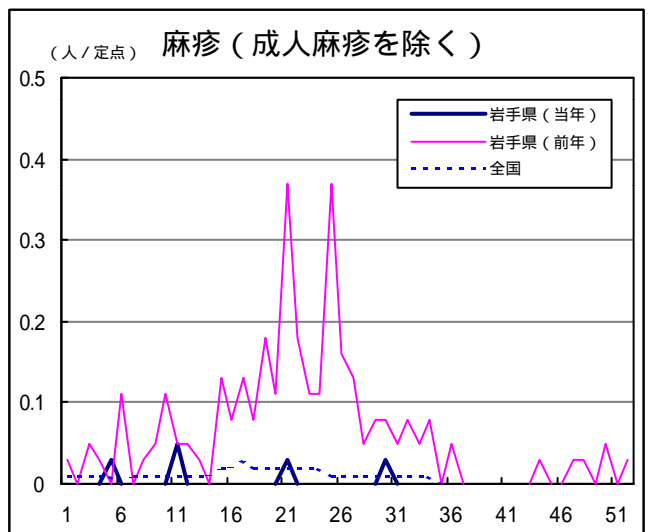
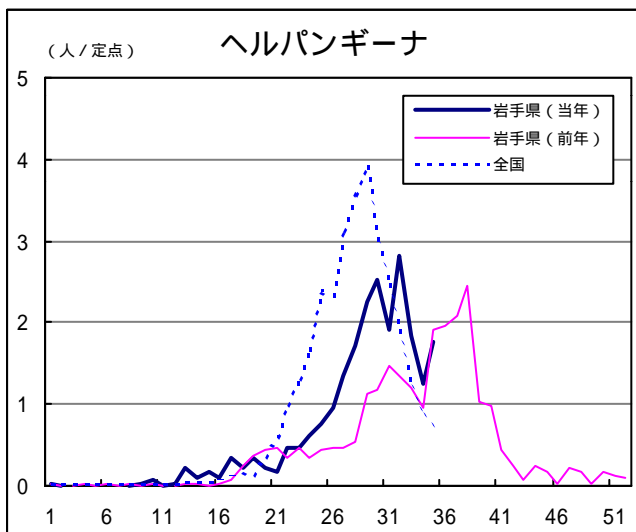
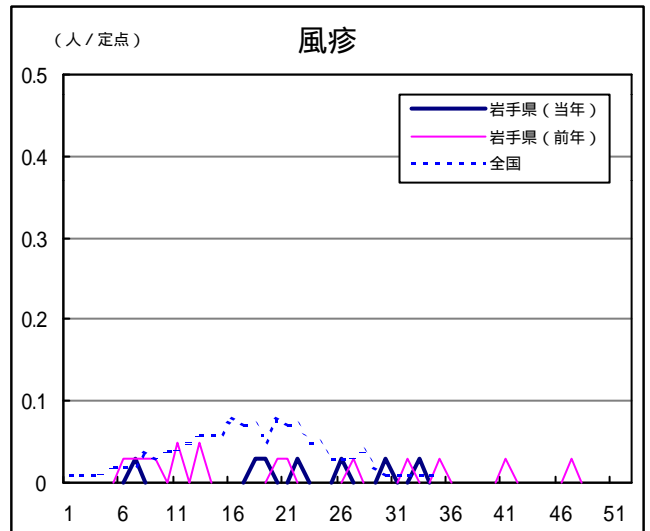
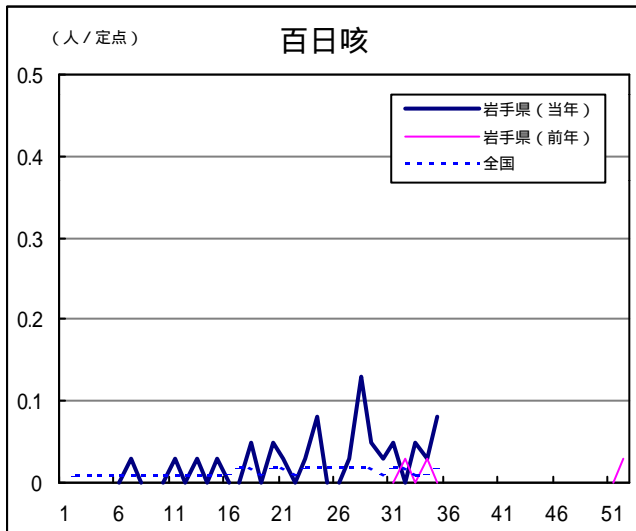
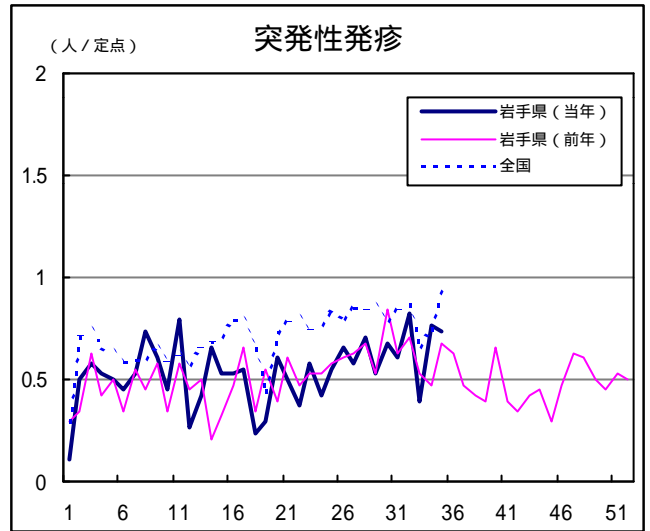
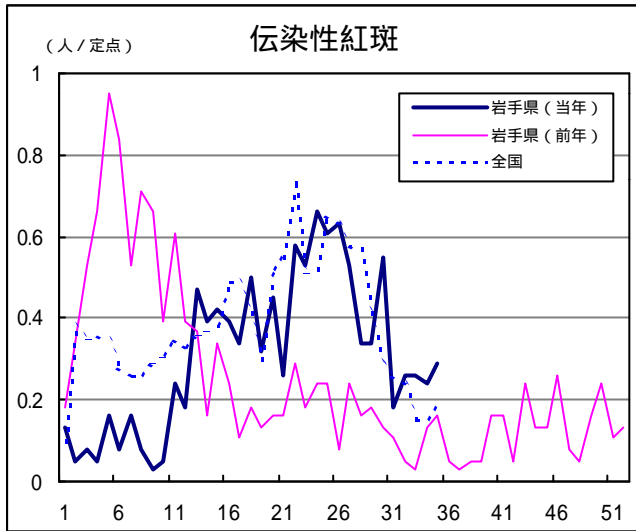
Q & A

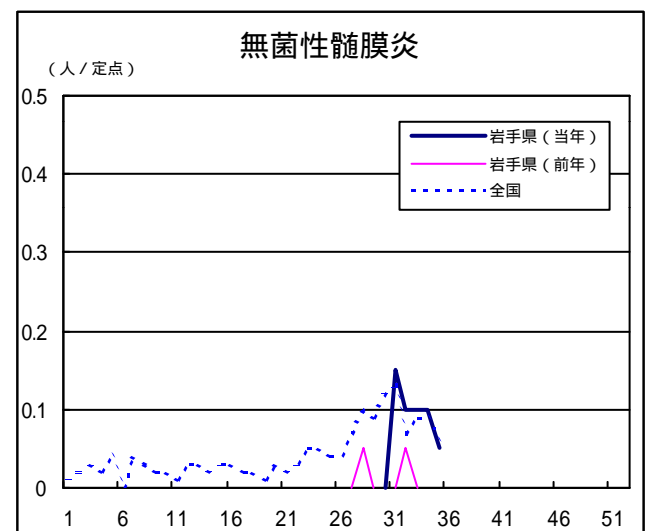
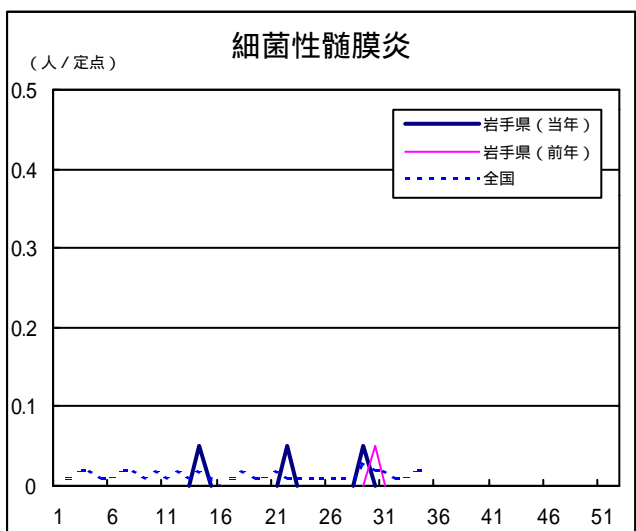
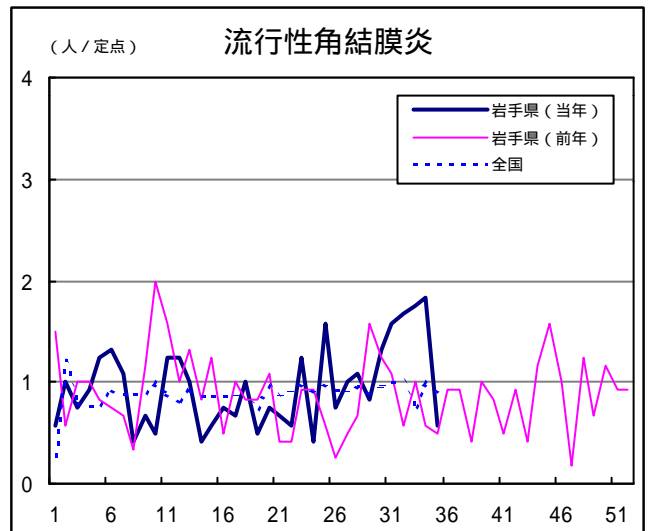
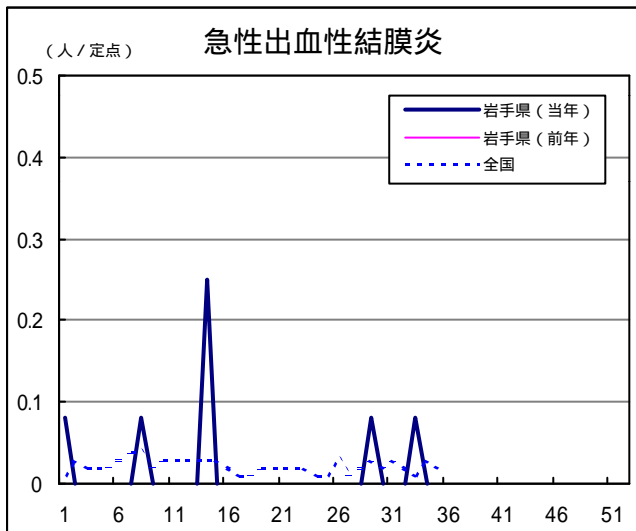
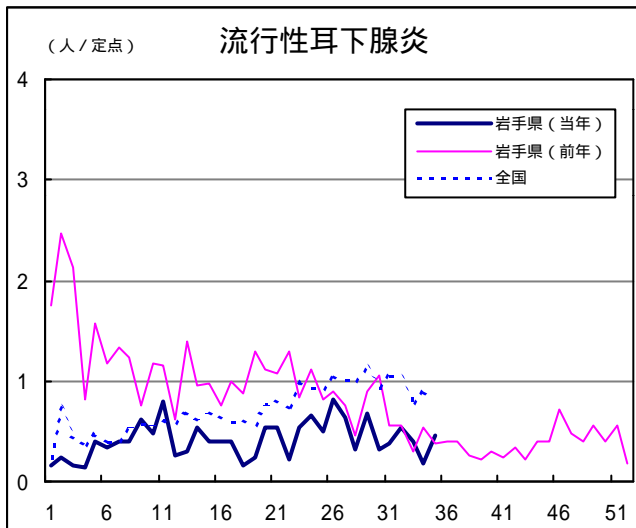
読者の皆様からのご質問にはこの欄でお答えします。

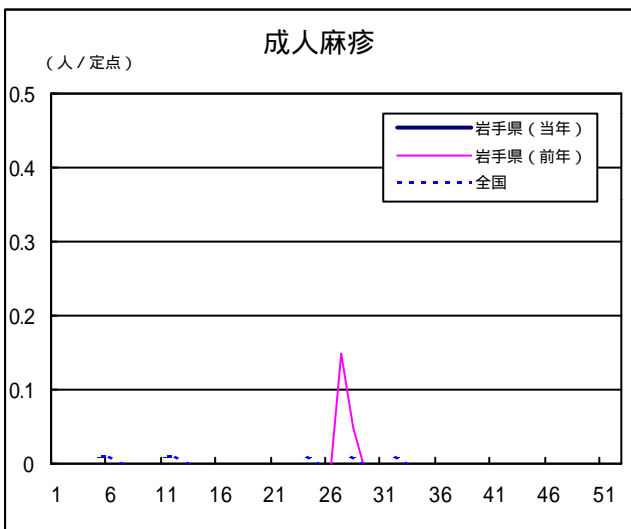
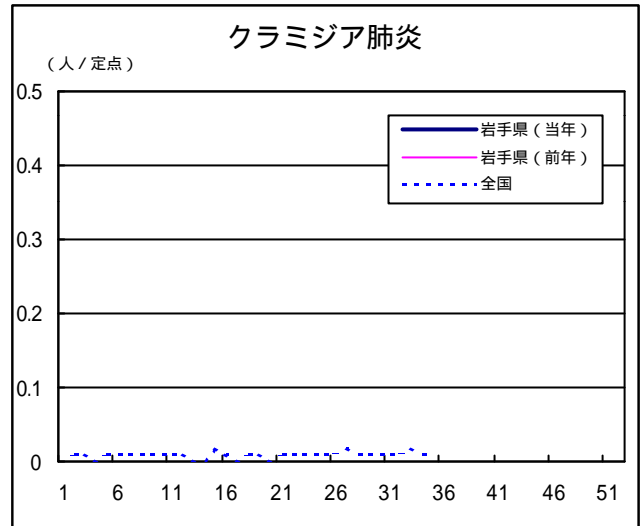
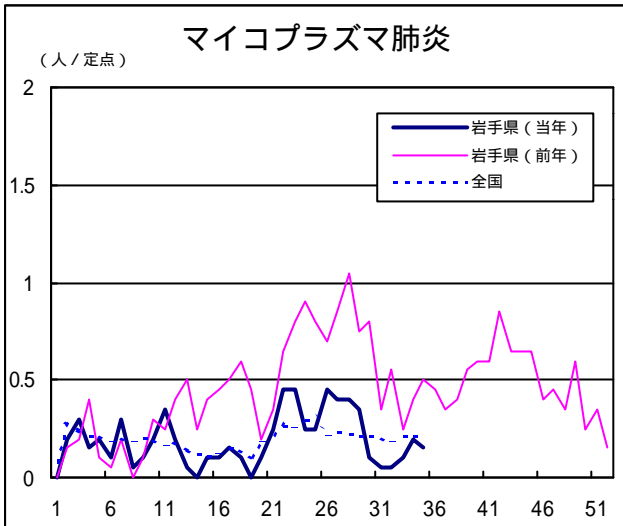
医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記の宛先までお寄せください。
岩手県結核・感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）
〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1
TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667
E-mail : CC0019@pref.iwate.jp

疾病別グラフ（定点あたり患者数の推移）









定点医療機関の数

地区	インフルエンザ	小児科定点	眼科定点	基幹定点
岩手県	62	38	12	20
盛岡	17	11	3	5
花巻	5	3	1	2
北上	5	3	1	2
水沢	7	4	1	2
一関	7	4	1	2
大船渡	5	3	1	1
釜石	5	3	1	2
宮古	5	3	1	1
久慈	3	2	1	1
二戸	3	2	1	2

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする
「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」を配信しています。
 配信の登録は以下のURLからお願いします。
<http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

岩手県感染症週報 平成16年第35週 平成16年9月3日発行
 監修：岩手県結核・感染症発生動向調査委員会
 発行：岩手県環境保健研究センター
 岩手県保健福祉部保健衛生課
 事務局：岩手県結核・感染症情報センター
 (岩手県環境保健研究センター保健科学部内)
 〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1
 TEL:019-656-5669(直通) FAX:019-656-5667
 E-mail: CC0019@pref.iwate.jp
 URL: <http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/>
 <岩手県結核・感染症情報センター>
<http://www.pref.iwate.jp/~hp0360/>
 <岩手県保健福祉部保健衛生課>